

【須々万地区】

市長と語ろう！もやいミーティング概要

- 1 日時 平成25年12月16日（月） 18：30～20：00
- 2 場所 須々万農村環境改善センター
- 3 参加者数 36名
- 4 出席者 市長 木村 健一郎
副市長 青木 龍一
企画総務部長 住田 英昭
行政改革推進室長 久村 信幸
- 5 会議録

（須々万 - 01：沼城小学校施設の維持管理）

Q) 沼城小学校は築後、全体的な施設のメンテナンスが実施されていないように思う。塗装をはじめメンテナンスを行うべきではないか。

市長) 優先順位を決め、順次メンテナンスを進めているが、これまで、その間隔が長すぎた感はある。メンテナンスのあり方自体も、今後見直していきたい。

Q) 耐震基準はいつの法律に基づいて進めているのか。

行政改革推進室長) 耐震基準は、昭和56年に示されたもの。教育委員会の資料によると、沼城小学校は54年に建設され、第2次耐震診断の結果は0.73で、耐震性があるとされている。

（須々万 - 02：コンビナートエネルギーの活用）

Q) 周南市の工場プラントの発電能力は高い。これを活用して市民の電気料金を削減するという考えはないか。

市長) ひとつのエネルギーを、効率的に市民で共有するスマートコミュニティとして、コンビナートの石炭火力発電による電力の市街地供給を検討中。また、我が市の水素は国内生産量の10%を占め、純度も高い。これを活用し、中四国で初となる水素ステーションの誘致も検討中。これらの実現には、企業、中国電力など様々な方面との調整が必要となるが、進めて行くつもりである。

Q) 発送電分離に先駆けて進めることになるのか。

市長) 同時並行で進めることもできると考えている。

(須々万 - 03 : 工業用水)

Q) 菅野ダムの工業用水管は設置後40年近く経過している。県の管轄だが、周南市の工業のためにも、将来を見越して耐震性の確認を進めるべき。市長) 県の協力を求めている。

(須々万 - 04 : 観光振興)

Q) 市の観光を振興するため、市の顔である徳山駅周辺整備として、観光バスが駅の近くに停まれるようにし、徳山から岩国・萩・秋芳洞への、観光のハブステーション化を検討しては。また、県外の船を呼び込み、週末に周南で買い物をしてもらえるよう、シーフロントにマリーナを整備しては。市長) 市街地の近くに観光バスが停まれるか検討したが、スペース的に手狭であり難しい状況。港は将来、観光で人を呼び込めるようにしたいが、まずは産業港としての整備に取り組みたい。徳山駅から県施設のフェリーターミナルの間は非常に魅力的で価値あるものなので、県・国とも協力して活用を検討したい。

(須々万 - 05 : 住居表示)

Q) 住居表示が無いため、家の位置が分からない、郵便物等の誤配が多いなど不便な状況。行政としてぜひ進めてほしい。市長) 住民の熱意をまとめていただければ、市として対応したい。まずは住民の気持ちをまとめていただきたい。

(須々万 - 06 : 合併処理浄化槽のランニングコスト)

Q) 合併処理浄化槽のランニングコストが高い。下水道敷設世帯との均衡を考えてほしい。副市長) 市街地における公共下水道事業は、密集しているので、整備費相応の使用料収入が見込めるが、市街地外では収入が見込めないため、合併処理浄化槽での設置を進める方針とし、平成26年度まで設置費の9割を補助している。ランニングコストは大きな課題であるので、今後、整備が終わった段階で検討したい。

(須々万 - 07 : 中心市街地活性化)

Q) 中心市街地活性化に向けたハコモノは簡素に作ってほしい。また、駐車料金が高いので、大胆に10年位区切って補助して、中心市街地の核となる店を誘致しては。

市長) 豪華なものではなく、将来に残る財産を作りたい。(仮称)新徳山駅ビル、新庁舎建設において整備する駐車場は一定時間、無料とすることを検討中。

(須々万 - 08 : ハザードマップ)

Q) 近年、局地的な大雨による災害が多い。ハザードマップを再チェックして示しては。

企画総務部長) ハザードマップにも様々な種類があり、土砂災害は県が範囲を決めているので、実態と異なる状況にあれば、県と協議して見直しを進めたい。

(須々万 - 09 : 橋りょうの点検)

Q) 市の橋りょうの強度のチェックをしっかりとしてほしい。

市長) 市内808カ所の橋りょうについて、現在、チェックを進めているところである。

(須々万 - 10 : 学校のプール開放)

Q) プールの開放を子ども会で実施してきたが、対応が困難になってきたため、開放を休止した。例えば、自分の子どもは自分で見守るということで、保護者で作った組織による自主運営など、何らかの手法でプールの開放が検討できないか。

市長) 地域と一緒にあって、新しい取り組み、方法を考えたい。

(須々万 - 11 : 須々万地区のまちづくり)

Q) 今後のまちづくりにおいて、須々万を市北部の拠点として考えてほしい。

また、地区の住民がボランティアで整備したふれあいの森を、市として青少年育成の場に活用することを検討してほしい。

市長) 市内31コミュニティにはそれぞれ歴史・伝統・文化があり、それぞれの地域づくりを進めている。須々万にはふれあいの森を含め、多くの財産があると認識している。今後も市全体の地域づくりをリードしていただきたい。

(須々万 - 12 : 須々万支所・公民館整備)

Q) 須々万支所・公民館が老朽化しているが、市北部の中心に相応しい建物として建替えてほしい。

市長) 総合支所、支所の機能は残すこととしている。また、須々万支所の老朽化は認識している。今後の施設整備の方向性は、現在、パブリックコメントを募集している基本方針案を決定した後、公共施設再配置計画を立てるとともに、プロジェクトチームを設置して検討を進める予定。地域の皆様の意見を聞き、知恵を出し合って、整備の方向性を検討したい。

要約一覧

須々万地区

管理 NO	内容	担当		質問	回答
須々万-01	沼城小学校施設の維持管理	教育政策課		沼城小学校のメンテナンスを行うべきではないか。耐震基準はいつの法律に基づいているか。	メンテナンスのあり方を、今後見直したい。耐震基準は、昭和56年に示されたもの。
須々万-02	コンビナートエネルギーの活用	商工振興課		周南市の工場プラントの発電能力を活用して市民の電気料金を削減するという考えはないか。	コンビナートの石炭火力発電による電力の市街地供給、また、純度の高い水素を活用した水素ステーションの誘致を検討中。
須々万-03	工業用水	商工振興課		菅野ダムの工業用水管の耐震性の確認を進めるべき。	県の協力を求めている。
須々万-04	観光振興	観光交流課	中心市街地整備課	観光バスが徳山駅の近くに停まれるようにし、観光のハブステーション化を検討されてはどうか。また、シーフロントにマリーナを整備しては。	観光バスの停留は、スペース的に困難。港は、将来的には観光で人を呼び込めるようにしたいが、まずは産業港として整備に取り組みたい。
須々万-05	住居表示	市民課		住居表示を進めてほしい。	まずは、住民の気持ちをまとめていただきたい。
須々万-06	合併処理浄化槽のランニングコスト	環境政策課		合併処理浄化槽のランニングコストが高い。下水道敷設世帯との均衡を考えてほしい。	市街地外での合併処理浄化槽の設置を進めるための措置として、平成26年度まで設置費の9割を補助。ランニングコストについては、今後、整備が終わった段階で検討したい。
須々万-07	中心市街地活性化	中心市街地整備課		中心市街地活性化に向けたハコモノは簡素に作っていただきたい。また、駐車料金が高いので、大胆に10年位区切って補助して、核となる店を誘致しては。	豪華なものではなく将来に残る財産を作りたい。新駅ビル、新庁舎に整備する駐車場は、一定時間無料とすることを検討中。
須々万-08	ハザードマップ	防災危機管理課		近年、局地的な大雨による災害が多い。ハザードマップを再チェックして示しては。	実態と異なる状況にあれば、県と協議して見直したい。
須々万-09	橋りょうの点検	道路課		市の橋りょうの強度のチェックをしっかりとしてほしい。	市内808個所の橋りょうについて、現在、チェックを進めているところ。

管理 NO	内容	担当			質問	回答
須々万-10	学校のプール開放	学校教育課			学校プールの開放について、子ども会での利用を、現在、休止しているが、何らかの手法でプールの開放利用が検討できないか。	地域と一緒にあって、新しい取組み、方法を考えたい。
須々万-11	須々万地区のまちづくり	中山間地域振興課	生涯学習課		須々万を市北部の拠点として考えてほしい。また、ふれあいの森を、青少年育成の場に活用することを検討してほしい。	市内31コミュニティにはそれぞれ歴史・伝統・文化があり、それぞれの地域づくりを進めている。須々万にはふれあいの森を含め、多くの財産があると認識している。今後も市全体の地域づくりをリードしていただきたい。
須々万-12	須々万支所・公民館整備	行政改革推進室	コミュニティ推進課	生涯学習課	須々万支所・公民館を市北部の中心に相応しい建物として建替えてほしい。	今後の施設整備の方向性は、基本方針決定後、公共施設再配置計画を立てるとともに、プロジェクトチームを設置して検討を進める予定。